

# 夏の高校野球パーフェクトガイド2016

北海道・東北

関東

北信越

東海

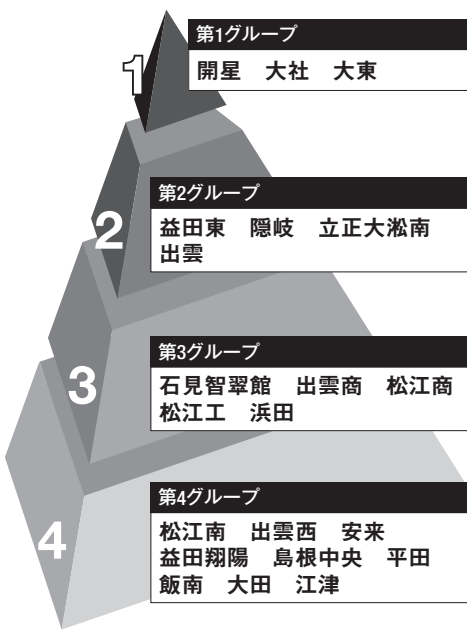
近畿

中国

四国

九州沖縄

## 地区勢力ピラミッド



## 秋季大会

出雲商	1
大社	2
浜田	3
益田東	4
立正大淙南	5
開星	6
出雲	7
出雲西	8

優勝II大社

## 春季大会

隠岐	1
大社	2
立正大淙南	3
大東	4
松江商	5
益田東	6
松江工	7
開星	8

優勝II開星

## 大会展望 秋の王者に大東が絡む三つ巴か

ともに強力な投手陣を形成するなど、総合力の高さに定評がある春の王者・開星と秋の王者・大社。さらに昨夏に続いて春も準優勝した大東が絡んでくる群雄割拠の戦いになりそうだ。ただ、昨夏はノーシードの石見智翠館が甲子園出場を決めたように、選手層の厚い立正大淙南や益田東などの私学勢が一気に駆け上がる可能性も十分にあり得る。さらに好左腕を擁する隠岐や出雲商、昨秋の中国大会で開星と大接戦を演じた出雲も力があり、どこが抜け出してもおかしくない。

## 新年度から開星の名参謀が交代

開星の前監督・野々村直通政権から19年間、部長を務めた名参謀の村本克氏が教頭から副校長への昇進をきっかけに部長を交代した。新部長には同校OBで1998年秋に出場選手資格規定違反で優勝が取り消しとなった“幻の中国大会優勝”（神宮大会には出場）時の主将だった大谷弘一郎氏が就任した。大谷氏は前年度まで開星中で監督を務めており、昨年好左腕・中村優真（開星）を擁し中国大会3位、147キロ右腕・吉川貴大らも中高一貫で指導することになる。

## 注目野手



小竹恭兵(松江南)

夏に向けて面白いのが大社の布

力を見張るものがある。逆に左打者なら、広角に安打を打ち分ける吉川侑南（松江商）、高い潜在能力を垣間見せる2年生の月森大介（出雲西）、今春に外野手越えを連発した渡邊智明（江津）らのシャープなスイングにも要注目だ。

公式戦全4試合で2本塁打を含む5長打と火を噴いている。一発勝負の夏だからこそ、公立校の主砲に他校も厳重警戒だ。

春の王者・開星は大舞台を経験したことで、ますますオーラが強まった。先輩の黒田雅也（JFE西日本）を彷彿させる気迫溢れる1番・近藤一聖をはじめ、球を打ち抜く圧倒的なスイングで2ケタ弾をマークする瀬戸口恵大、福岡聖の3、4番コンビからはパワーだけでなく執念も感じられる。

陣だ。津和野戦で本塁打を放った2年生主砲・森口雄大らに加え、左右両打席で放り込める力を持つ2年生・上田昂と走攻守三拍子揃う1年生・小河英一郎の秘密兵器も準備を着々と整えている。

その他、右打者では夏の甲子園でも4番を張った泉勇太郎（石見智翠館）、春の公式戦で2本塁打をマークした石倉雅司（松江工）、一昨年から鋭い打球を連発する豊田隼也（益田東）らの力強さは